

# 委員会の審査から

こんな質問がありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果について、9月26日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

## 総務

政策秘書室・危機管理防災課・総務部・財務部・会計課・消防・行政委員会事務局等

### 平和を次世代へつなぐ取り組みの研究を

**委員** 新曽南庁舎のブラックアウト対策は。

**執行部** 自家発電機を設置しており、電力会社からの供給が途絶えても、8時間はシステムが稼働でき、燃料を継ぎ足せば時間を延ばすこともできる。

**委員** 非核・平和事業の参加人数は。

**執行部** すいとんづくりは親子12組合計32人、映画上映会および講演は36人の参加があった。

**委員** コンビニエンスストアのAEDの設置状況は。

**執行部** 市内全60店舗に設置している。

**委員** 平和を次世代につないでいく良い取り組みなので、もっと多くの人に参加していただけるよう研究してもらいたい。

**委員** 昨年度の土のうの活用実績は。

**執行部** 1647袋の土のうが活用された。



▲すいとんづくりの様子

## 文教・建設

都市整備部  
教育委員会

### 駅周辺に都市機能を誘導する 立地適正化計画による影響は

**委員** 立地適正化計画で駅周辺に都市機能を誘導することで、市内の他の地域や高齢者の利便性が阻害されるといった影響はないか。

**執行部** 駅周辺は今ある施設を維持し、さらなる利便性を指すために都市機能を誘導する計画としている。他市町村の計画とは違い、影響がないよう考慮している。

**委員** 図書の貸出率を活用した選書や、ホームページでの新着図書案内を実施できないか。

**執行部** 貸出率は、個別ではなく分類ごとに把握している。新着図書は、案内を毎月作成し、配布しているほか、ホームページで供用開始時期などからの検索により、利用いただいている。

**委員** 不登校児への対応状況は。

**執行部** 不登校対策を行っている民間事業者からのアウトリーチにより、定期的に登校できるようになるなどの効果が上がってきている。



▶居住機能や都市機能の適正な誘導を図る「戸田市立地適正化計画」

## 健康福祉

福祉部・こども青少年部・福祉事務所・市民医療センター

### 上戸田地域交流センターにおける バリアフリーの検討を

**委員** 介護老人保健施設の指定管理者による運営に対する市の関わり方は。

**執行部** 四半期ごとに職員の勤務体制をモニタリングしており、引き続き職員 の定着に向けて市も指定管理者と一緒に取り組んでいきたい。

するようにしている。問題解消に向けて、引き続き指定管理者と協議をしていく。

**委員** 保育士の処遇は。

**執行部** とだの保育創造プロジェクト会議において協議の場を設け、保育士および保育園の悩みや質問を受けているほか、さまざまな研修会の案内をしている。

**委員** 上戸田地域交流センターの第1駐車場において、車いすの利用者が、車いすをおろす際にロック板が干渉するが、ハード・ソフトの両方のバリアフリーを検討してほしい。

**執行部** 利用者から申し出をいただけるよう掲示して、施設職員が個別に対応



▲上戸田地域交流センター第1駐車場

## 市民生活

市民生活部・環境経済部  
上下水道部

### toCoバスの利用者数増加の要因は

**委員** toCoバスの利用者数が29年度と比較して約6700人増加した要因は。

**執行部** 人口増加のほか、ここ数年は運行ルートや時刻表を固定しており、その有用性が利用者 に認識されてきたと考えられる。

**委員** 川岸地内環境空間の整備状況は。

**執行部** 環境空間（戸田1）に関して、29年度に地域住民を交えたワークショップを開催し、30年度までに設計作業を行った。今年度中には市民の意見も反映した公園が完成する予定。

**委員** 町会・自治会が設置した防犯カメラに対して、5年間の維持管理を条件に市が補助金を出しているが、6年目以降の扱いは。

**執行部** 補助の条件である5年間の経過した後のカメラの扱いについては今後、さまざまな意見を聞きながら検討していく。



▲利用者が年々増加している toCo バス